



○熱環境（熱負荷特性）マップは、航空機から測定された地表面温度、冷暖房や自動車などからの人工排熱、土地被覆、気象条件等各種データを用いて解析を行い、1 km²毎に熱負荷の程度の状況を類型化して示したものであり、地域における放熱の特性と、大きさの程度がわかります。

□大阪市域を中心に熱負荷の高い区域が分布しており、外縁部に進むに従って、熱負荷は低くなっていく傾向があります。

使用データ：人工排熱データ（大阪大学水野研究室）

土地利用データ（大阪府及び大阪市都市計画基礎調査等）